



平成22年2月8日

各位

会社名 ミヤチテクノス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田尻 康
 (コード番号 6885 東証第一部)
 問合せ先 管理本部副本部長 金澤 裕
 TEL 03-5246-6700(代)

第2四半期累計期間及び個別通期業績予想の修正に関するお知らせ

当第2四半期累計期間及び通期業績について、平成21年8月19日に公表しました連結業績予想及び個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年6月期第2四半期累計期間 業績予想数値の修正 (平成21年7月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結業績

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	8,400	△540	△620	△400	△34.54
今回発表予想 (B)	7,713	△749	△748	△335	△28.92
増減額 (B - A)	△687	△209	△128	65	—
増減率 (%)	△8.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年6月期第2四半期)	9,175	△15	△482	△630	△54.40

(2) 個別業績

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,500	△490	△520	△320	△27.63
今回発表予想 (B)	3,247	△984	△910	△550	△47.40
増減額 (B - A)	△253	△494	△390	△230	—
増減率 (%)	△7.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年6月期第2四半期)	—	—	—	—	—

2. 平成22年6月期通期 業績予想数値の修正（平成21年7月1日～平成22年6月30日）

個別業績

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	9,200	63	3	2	0.17
今回発表予想（B）	8,350	△744	△700	△420	△36.26
増減額（B－A）	△850	△807	△703	△422	－
増減率（％）	△9.2	－	－	－	－
（ご参考） 前期実績 （平成21年6月期）	8,635	△1,191	△1,285	△857	△74.05

3. 修正の理由

第2四半期累計期間の業績予想修正の背景として、欧米、東アジア市場では地域格差はあるものの、緩やかながらも総じて回復基調にあるのに対して、日本国内では依然として自動車関連業界など当社主要顧客層において、設備投資の抑制が継続しており、当社の業績もこの影響を受けました。

秋口以降、韓国子会社を中心に東アジア地域では需要がかなり回復、欧州および米国子会社も年初予想を上回る業績で推移するなど回復基調が鮮明になりつつありますが、国内においては、部品業界で在庫調整が進んだこと、電池、HDD、半導体業界など需要が回復、また自動車関連業界でもハイブリットや電気自動車に関連した設備投資が行われるなど、需要の底打ちを感じさせるようになって来たものの、依然力強さには欠け、個別売上高は予想を下回り、秋口以降の回復にも拘わらず連結売上高も予想を下回る見込みとなりました。

利益面では、経済の低迷に伴う需要減退と競争激化による販売価格の低下、個別売上高の減少もあり、固定費・変動費の削減努力にも拘わらず営業利益、経常利益において当初予想を下回る見込みとなりました。

通期の連結業績予想につきましては、平成21年8月19日に公表した予想数値から変更はございません。

足元の経営環境をみますと、為替が円高傾向にあること、国内の景気先行き不透明感と設備投資抑制の影響が懸念されますが、当期上期の連結受注高は、第1四半期3,517百万円、第2四半期4,708百万円となる見込みであり、第2四半期累計では前年同期間比で89%レベルまで回復してきております。モータ、電池、HDD、半導体、部品などの好調な業界に加え、電機電子業界においても回復傾向を見せていることから、海外子会社は上期に引き続き当初予想を上回る推移が見込まれ、上期低調であった国内も業界格差は残るとしても総じて回復が見込めます。出荷を開始した新製品ファイバーレーザも徐々に市場に浸透しはじめ、引き合いも更に増加しており、太陽光発電関係システム半導体マーケティングシステム、トリミングシステムといったシステム関係の新製品の受注売上への貢献も期待できます。これらに加え、グループ全社での業務改善施策を継続的に実行することにより、通期連結業績で黒字転換を目指してまいります。

通期の個別業績予想については、当第2四半期累計期間の業績予想を踏まえて上記のとおり修正いたします。

以上

上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。従いまして、実際の業績は、今後様々な重要要素により、これらの業績予想とは異なる結果となる場合があります。